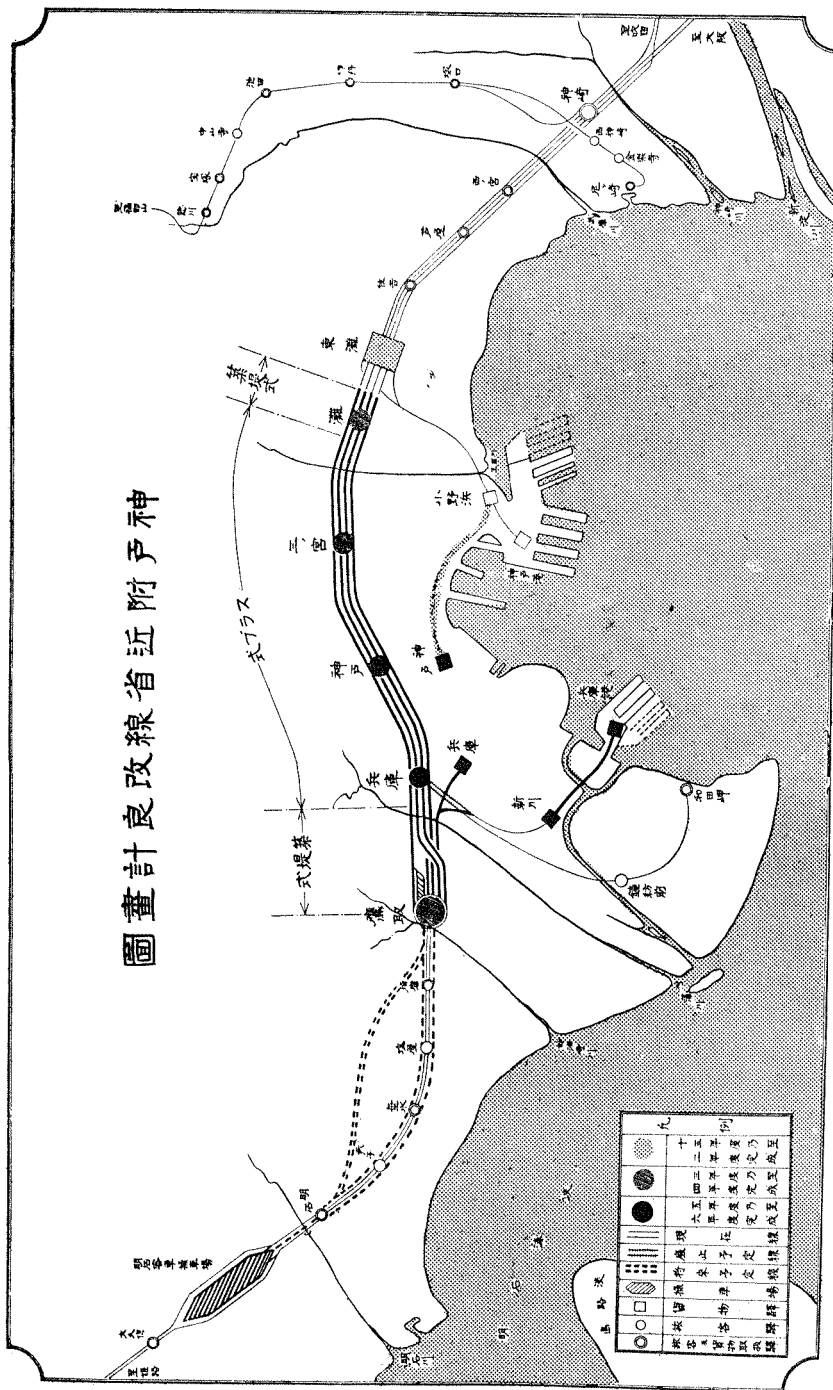


— 神戸高架線工事 —



(1) 神戸近省線改良工事計畫圖

神戸高架線工事の大きさ

神戸の高架線工事は東は鷹取驛より西は灘驛に到る約七哩間の市内縦貫鐵道を高架に改良する工事でありまして、其の内四哩半が「スラブ」式で、二哩半が築堤式の設計になつております。線路の数は、灘兵庫間は四線で、兵庫鷹取間は五線（内一線は貨物列車の小運轉線）であります。（以下神戸改良松岡技師）

施工の順序は最初現在線を濶側に「シフト」して、山側二線分の高架を築造し、現在線を此の高架の上へ切替え、然る後濶側二線分の高架に着手する事になつております。全体の豫算が三千七百七十萬圓で内、八百五十萬圓が用地費であります。竣工期は山側二線分が昭和四年度で、全体の竣工は七年度になります。